

山口県は本州の西端にあり、三方が海に広がり歴史的に海道交流が活発で、古くから大陸との交流の窓口でもあった。ゆえにそれぞれの地域が恵まれた自然・歴史・文化資源を有している。

現在岩国などの東部は広島志向の経済交流であり、下関などの西部は福岡・北九州志向で、県央部にも求心力のある中核都市が全くない。全国でもめずらしい中小都市が分散する屈指の分散型都市構造であり、人口減少率も高い。

これから未来に向けて、この分散型の地域構造も1つの形・長所として、輝くことができるかが問われている。それぞれの分散した個性が輝きながら、ゆるやかにスクラムを組み、水平・ネットワーク型地域構造が育ってほしい。

歴史の道萩往還

山口県の県央部を北の日本海から南の瀬戸内海まで縦断する、53kmの道が萩往還である。

萩往還は1604年の萩城築城後藩主のお成道(参勤交代道)として整備されたが、山陰と山陽を結ぶ陰陽連絡道として、民衆の重要な交通路となった。幕末には維新の志士たちが往来し歴史の上で重要な役割をはたした。

その沿道には多彩な文化と貴重な遺産が残っており、平成元年に国指定史跡に指定され、平成8年には歴史の道百選にも選定されている。今日までその評価は、市域を超えた連係がなされず、あまり活用されてこなかった。

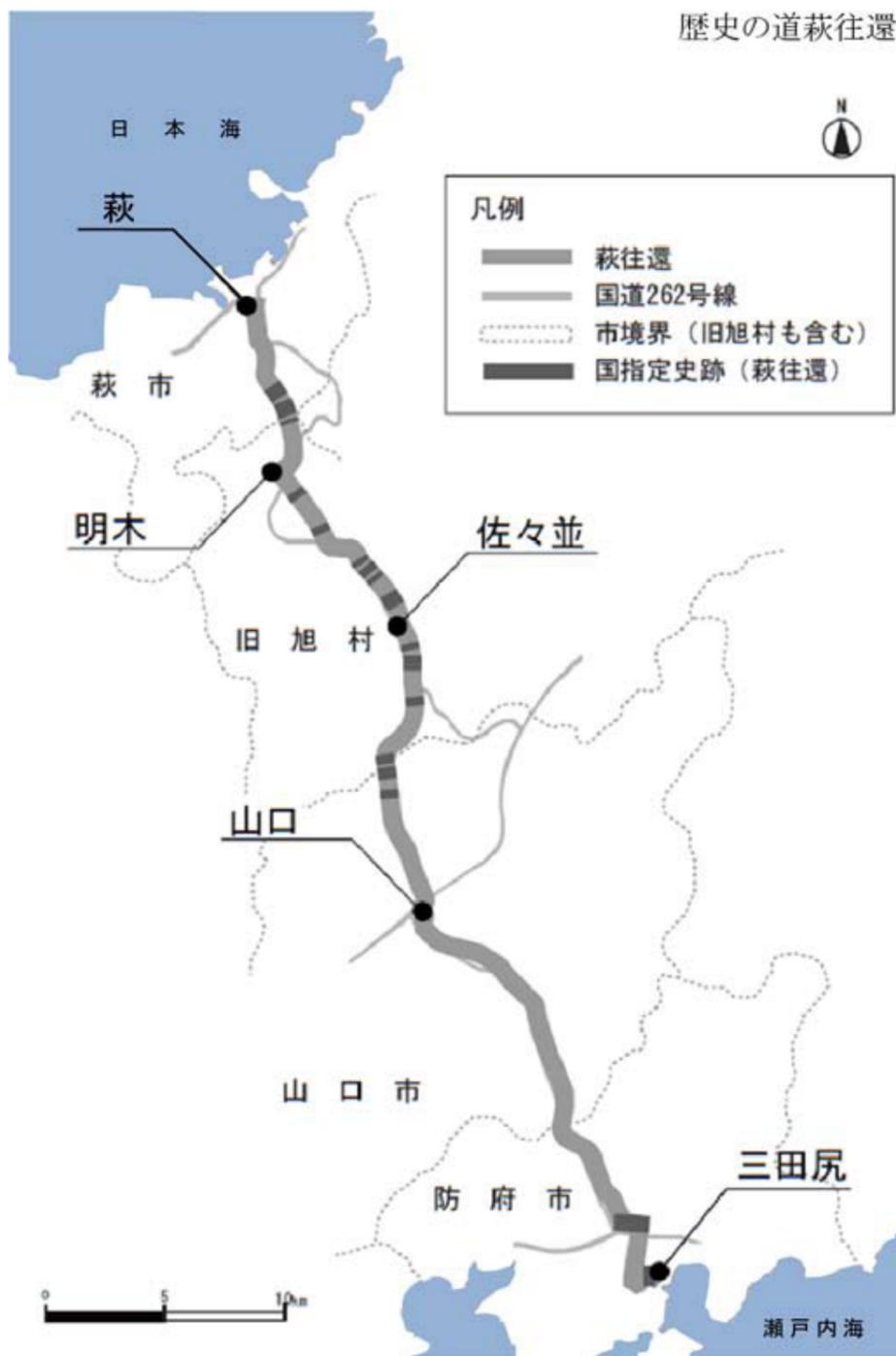
近年環境や歴史への関心が高まる中、その再評価と共に、萩・山口・防府市のかつてない連係がスタートし、貴重な歴史遺産を全国に訴える活動が胎動している。



2010年4月、萩往還の萩側の起点になる「唐樋札場跡」に全国的にも最大規模の高札場が復元された。



萩往還(山間部)



山口県県央部

萩市

旧市街の三角州内は今でも江戸時代の地図がそのまま使える貴重な町割(道筋)を残し、武家屋敷、町屋、古刹など日本を代表する文化財がまち中のいたるところに現存している。特に国の重要伝統的建造物群保存地区は、上級武家地であった「堀内地区」、中下級武家地であった「平安古地区」、藩の経済を支えた町屋が集る「浜崎地区」と3ヶ所もある。

萩開府400年を迎えた平成16年には、町全体を屋根のない博物館に見立て、数多くの歴史的遺産や文化遺産を現地にありのままに展示し、それを根拠にした新たな文化を創造し、地域の景観づくりを目指し「萩まちじゅう博物館構想」を打ち立て、行政と市民が協働して推進している。



江戸時代末期絵図



萩市全景

2011年佐々並市(萩市)が国の重要伝統的建造物群保存地区に新指定

佐々並市は萩往還沿いの山間部に位置しているが、毛利氏による萩往還の整備とともに、宿駅機能を持つ農村集落として、62軒から成る町並みが一挙に成立した。萩往還の宿駅として、農業を営みながら宿や人馬を提供すると共に、造り酒屋、酢醤油屋、肴豆腐屋、鍛冶屋等の商工業も担った農村集落であった。

現在も、江戸時代に遡る開放的構成の茅葺き民家と、明治以降に建築された石州瓦葺きの民家が混在した平入りの歴史的町並みが、周囲の田畑に浮かび上がっている。又集落を外れた萩往還沿いには、江戸期から造られてきた多くの棚田が残存し、その石垣等が150以上にわたり、伝統的建造物(工作物)として特定されているのが特徴である。

これから年月をかけながらも、着実に古民家等の再生が進められていく。



江戸時代景観絵図



佐々並全景

山口市

山口県の中央に位置し、山に囲まれた盆地であり、全国の県庁所在地の中で最も人口が少ない。南北朝時代に内内氏の本拠となり、日明貿易も行われ「西の京」として栄えた。江戸時代には萩往還の中継地として繁栄する。

大内氏居館跡に建つ重要文化財龍福寺が2011年末に保存修理工事を終える。又同居館跡で大内氏の池泉庭園が発見されたが、発掘調査を経て行われた復元整備工事が、2011年9月に完了し、一般公開される。



池泉庭園



龍福寺本堂

防府(三田尻・中関・宮市)

防府市はその名の由来通り、奈良時代以後周防国の国府が置かれた都市であり、萩往還の瀬戸内海側の玄関口でもある。ゆえに国分寺や毛利氏の遺跡も多い。このように有数の文化・歴史資源を抱えているにもかかわらず、これまでうまく活かされてこなかった。

萩往還の終点防府にある高札場跡地(防府市天満宮下)は、萩往還と旧山陽道が合流分岐する「四ツ辻」にあたり、現在も回遊動線の拠点である。2010年にそこに観光交流回遊拠点施設も整備された。

又瀬戸内海側の藩主屋敷「英雲荘」が15年にわたる改修保存工事を終了し、2011年より一般公開が始まる。



観光交流回遊拠点施設(うめてらす)



萩往還 宮市本陣貝部家

現在、社会は高速交通網や高度情報ネットワークが進み、経済論理による急激な社会活動が伴っている。この様な時代こそ、歴史の道をしっかりとふまえ、未来を創っていききたい。